



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東
 コード番号 6627 URL <http://www.teraprobe.com/>
 代表者(役職名) 代表執行役社長 (氏名) 横山 毅
 問合せ先責任者(役職名) 執行役CF0 (氏名) 地主 尚和 (TEL) 045-476-5711
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	4,699	16.7	351	—	331	—	172	—
2019年12月期第1四半期	4,025	△36.1	△297	—	△358	—	△47	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 146百万円(—%) 2019年12月期第1四半期 △266百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	19.00	—
2019年12月期第1四半期	△5.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	56,157	30,396	40.9
2019年12月期	56,927	30,250	40.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 22,995百万円 2019年12月期 22,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期第2四半期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	14.2	150	—	50	—	0	—	0.00
	~9,200	~16.8	~350	—	~230	—	~170	—	~18.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年12月期第2四半期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も状況が変動する可能性があることから、レンジ形式により開示しております。より精度の高い予想数値につきましては、算出が可能となった段階で、改めて公表する予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期1Q	9,282,500株	2019年12月期	9,282,500株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2020年12月期1Q	185,241株	2019年12月期	185,241株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期1Q	9,097,259株	2019年12月期1Q	9,237,566株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、四半期決算補足説明資料をウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループでは、前期第4四半期と比較して、主要顧客の車載向けLogic製品の受託量がファイナルテストの増加などにより堅調に推移した一方で、DRAM製品の受託量が生産調整などにより減少したことなどから、売上高は、ほぼ横ばいの4,699百万円（前期第4四半期比1.0%増）となりました。

営業利益につきましては、当第2四半期以降の需要増加に備えて、設備や人員を先行手配したことなどにより費用が増加したことから、前期第4四半期と比較して減少し、351百万円（前期第4四半期比9.2%減）となりました。

また、前期第4四半期に休止資産の除却を行ったことで営業外費用である休止資産減価償却費が減少したことなどから、経常利益は331百万円（前期第4四半期比12.0%増）、前期第4四半期において計上した固定資産除却損や、法人税等調整額の見直し等の要因がなくなったことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は172百万円（前期第4四半期比17.2%増）となり、前期第4四半期と比較してそれぞれ増加いたしました。

前年同期との比較では、主要顧客の車載向けLogic製品について、ウエハテストの受託量が一昨年後半からの生産調整以前の水準に近づいたことや、新たなファイナルテストの受託を獲得したこと、また、その他Logic製品についても受託量が増加したことなどにより、売上高は16.7%増加いたしました。

売上高の増加に伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、それぞれ297百万円、358百万円及び47百万円の損失であった前年同期から改善し、黒字転換いたしました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高の製品別内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	DRAM	Flash	Logic	合計
当第1四半期連結累計期間	838	13	3,847	4,699
(参考) 前期第1四半期	743	126	3,155	4,025
(参考) 前期第4四半期	950	28	3,674	4,653

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は56,157百万円となり、前連結会計年度末比770百万円の減少となりました。これは主に、流動資産が331百万円、有形固定資産が425百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は25,761百万円となり、前連結会計年度末比916百万円の減少となりました。流動負債が523百万円、長期借入金の弁済等で固定負債が393百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は30,396百万円となり、前連結会計年度末比146百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が172百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期第2四半期において、日本だけでなく世界的にも新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せない中、当社グループに与える影響につきましても変動する可能性があるため、現時点で精度の高い予想を算出することが困難であります。そのため、売上高、利益ともにレンジ形式での開示としております。

売上高につきましては、当期第1四半期において、当第2四半期以降の需要増加を期待していましたが、新型コロナウイルス感染症により、当社が注力する車載向けLogic製品の需要が大きな影響を受けることなどから、当期第1四半期と比較して減少するものと予想しております。

営業利益、経常利益につきましては、新たな設備投資の見直しや各種費用の抑制に努めますが、売上高の減少及び当期第1四半期の先行投資による減価償却費や人件費などの費用の増加により、当期第1四半期と比較して減少するものと予想しております。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、上記に伴い当期第1四半期と比較して減少するものと予想しておりますが、現在保有している設備につき、生産効率の向上や将来的な利用可能性等を踏まえ、不要となる設備を売却することにより、特別利益として設備売却益の計上を見込んでおります。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が9,000～9,200百万円、営業利益が150～350百万円、経常利益が50～230百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が0～170百万円と予想しております。

より精度の高い予想数値につきましては、算出が可能となった段階で、改めて公表する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,838,308	10,601,158
売掛金	5,233,552	5,170,665
製品	40,006	43,362
仕掛品	372,081	377,042
原材料及び貯蔵品	87,395	85,699
その他	965,928	927,971
流動資産合計	17,537,272	17,205,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,329,459	9,147,387
機械装置及び運搬具(純額)	23,105,823	23,616,433
その他(純額)	6,258,611	5,504,755
有形固定資産合計	38,693,893	38,268,576
無形固定資産		
その他	214,179	206,146
無形固定資産合計	214,179	206,146
投資その他の資産		
その他	482,584	477,004
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	482,579	476,998
固定資産合計	39,390,651	38,951,721
資産合計	56,927,924	56,157,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	334,164	245,742
短期借入金	1,756,920	1,839,840
1年内返済予定の長期借入金	590,000	580,000
リース債務	328,970	289,853
未払法人税等	97,742	184,616
賞与引当金	240,658	335,107
前受収益	872,801	793,530
その他	2,430,551	1,859,958
流動負債合計	6,651,810	6,128,648
固定負債		
長期借入金	18,975,408	18,629,347
リース債務	478,352	408,895
退職給付に係る負債	194,836	199,124
修繕引当金	31,784	34,674
その他	345,680	360,704
固定負債合計	20,026,062	19,632,747
負債合計	26,677,872	25,761,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	7,611,322	7,611,322
利益剰余金	3,281,286	3,454,159
自己株式	△119,924	△119,924
株主資本合計	22,595,997	22,768,869
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	340,196	249,988
退職給付に係る調整累計額	△24,933	△23,758
その他の包括利益累計額合計	315,262	226,230
非支配株主持分	7,338,791	7,401,126
純資産合計	30,250,051	30,396,226
負債純資産合計	56,927,924	56,157,622

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	4,025,354	4,699,013
売上原価	3,854,721	3,913,483
売上総利益	170,633	785,529
販売費及び一般管理費	467,882	433,669
営業利益又は営業損失(△)	△297,248	351,860
営業外収益		
受取利息	15,567	5,156
為替差益	—	16,095
受取手数料	19,160	14,630
設備賃貸料	148	18,696
その他	4,121	3,494
営業外収益合計	38,999	58,073
営業外費用		
支払利息	67,137	59,854
休止固定資産減価償却費	18,415	15,914
その他	15,155	3,079
営業外費用合計	100,709	78,848
経常利益又は経常損失(△)	△358,959	331,086
特別利益		
地方自治体助成金	155,349	—
固定資産売却益	229,581	124,621
特別利益合計	384,930	124,621
特別損失		
役員退職慰労金	55,000	—
設備移設費用	119,162	—
固定資産除却損	1,327	8,093
特別損失合計	175,489	8,093
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△149,519	447,614
法人税等	55,746	125,736
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△205,265	321,877
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,752	172,872
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△157,512	149,005
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△62,360	△176,877
退職給付に係る調整額	925	1,175
その他の包括利益合計	△61,435	△175,702
四半期包括利益	△266,700	146,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,630	83,839
非支配株主に係る四半期包括利益	△188,069	62,334

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。